

さいたま市長メッセージ（令和4年11月2日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市では、11月1日発表分までの1週間で、2,505名の新規陽性者が確認されています。新規陽性者数は下げ止まり傾向にあり、さらに今年の冬は新型コロナウイルスの再拡大と、インフルエンザの同時流行が危惧されています。

市民の皆様には、今から、この冬への備えをお願いしたいと思います。

まず、発熱外来を速やかに受診できない場合に備え、セルフチェックを行っていただくため、事前に、新型コロナウイルスの抗原検査キットを、各ご家庭で購入しておいていただきたいと思います。

同時流行により、これまでにない感染規模が想定され、発熱外来がひっ迫する可能性があります。中学生から64歳までの方で、重症化リスクの低い方が発熱した場合、まずは抗原検査キットでセルフチェックをして、結果が陽性の場合は、オンラインで確定診断を受けることができます。

また、解熱鎮痛剤についても、あらかじめ購入しておくことで安心して療養することができますので、事前に準備していただきたいと思います。

次に、本市では現在、オミクロン株に対応したワクチンでの接種を行っています。接種を希望する方は、早めの接種をご検討ください。また、季節性インフルエンザワクチンについても、接種を希望される65歳以上の定期接種対象の方は、早めの接種をお願いします。

11月に入り、気温も下がってまいりました。暖房を使う機会が多くなることと思います。適切な換気を行うなど、今一度、基本的な感染防止対策に努めていただきたいと思います。